



ふじのくに地域・大学コンソーシアムでは、単位互換協定校の学生を対象に、フィールドワークと講義を組み合わせた授業を開講します。いろいろな大学、学部の学生と静岡県ならではの学びを体験できます。


開講科目(一例)

科目(開設大学)
静岡県の産業イノベーション (静岡産業大学)
内容
静岡県東部地域の産業のイノベーションについて、実践的に学習します。実際に企業を訪問し、地元企業の理解促進を図るとともに、本県産業の現状と課題を理解し、将来の産業の姿を考えます。


企業見学を通し、実際の職場の雰囲気や熱量の高さを知ることができた。(R6 参加学生)

科目(開設大学)
お茶 (静岡県立大学)
内容
お茶に関連する施設を訪れたり、お茶を収穫したりとお茶の歴史や伝統に触れる実習を実施します。講義では栄養学や加工、流通など多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶の魅力について考えます。


人生初の茶摘みと共に、静岡市北側の山間部の自然に触れることができた。(R6 参加学生)

科目(開設大学)
南アルプスの自然 (静岡大学)
内容
国立公園、ユネスコエコパークに認定された南アルプスを題材として、生態系の保全と持続可能な利活用、自然と人間社会の共生をいかに調和していくか、フィールドワークの中で学習します。


井川の土地や人に触れ、多くを学ぶことができた。講義室で受ける普段の授業と全く異なり、新鮮で良い経験になった。(R6 参加学生)

その他の開講科目は裏面へ



公益社団法人 The Consortium of Universities & Local Communities in Shizuoka

ふじのくに地域・大学コンソーシアム



単位互換制度とは

他の大学において修得した授業科目の単位を自大学の単位として修得したものとみなされる制度です。

単位互換協定校

静岡大学、沼津工業高等専門学校、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、静岡英和学院大学、静岡産業大学、静岡理工科大学、東海大学静岡キャンパス、常葉大学、浜松学院大学

科目(開設大学)	日程(予定)	定員	単位	内容	募集日程(予定)
演劇論 (静岡英和学院大学)	8月中旬~下旬	50	2	静岡県が誇るSPAC(静岡県舞台芸術センター)から講師を招き、講義だけでなく、ワークショップや観劇を通して、演劇について、また現代社会における演劇を取り巻く状況について考えます。	6月2日~ 6月27日
静岡県の産業イノベーション (静岡産業大学)	8月18、19、20、27日 (企業見学・東部コース)※	20	2	静岡県東部地域の産業のイノベーションについて、実践的に学習します。実際に企業を訪問し、地元企業の理解促進を図るとともに、本県産業の現状と課題を理解し、将来の産業の姿を考えます。	
静岡県の産業イノベーションII (静岡産業大学)	8月18、21、22、27日 (企業見学・中部コース)※	20	2	静岡県中部地域の産業のイノベーションについて、実践的に学習します。実際に企業を訪問し、地元企業の理解促進を図るとともに、本県産業の現状と課題を理解し、将来の産業の姿を考えます。	
静岡県の産業イノベーションIII (静岡産業大学)	8月18、25、26、27日 (企業見学・西部コース)※	20	2	静岡県西部地域の産業のイノベーションについて、実践的に学習します。実際に企業を訪問し、地元企業の理解促進を図るとともに、本県産業の現状と課題を理解し、将来の産業の姿を考えます。	
魅力ある食と地域づくり (静岡県立大学)	8月25、26、28、29日 (予備日:9月4、5、8、9日)	30	2	静岡の魅力ある食と地域づくりについて、食材、文化、観光などの視点から学習します。実習では地元食材の生産者見学や食体験を行い、地域資源を活用したガストロノミーリズムについて考えます。	
お茶 (静岡県立大学)	9月1日~4日	40	2	お茶に関連する施設を訪れたり、お茶を収穫したりとお茶の歴史や伝統に触れる実習を実施します。講義では栄養学や加工、流通など多様な視点からお茶を総合的に学習しお茶の魅力について考えます。	
静岡県西部地域の特性と産業 (静岡文化芸術大学)	9月16、19、24日	16	2	浜松を中心とした県西部地域の特性と産業の課題について講義で地域の現状を理解します。また企業や団体の生産・活動の現場で事例調査を行い、地域の課題や解決方法、未来の展望について学びます。	7月9日~ 8月8日
南アルプスの自然 (静岡大学)	10月4、5日 (予備日:10月18、19日)	20	1	国立公園、ユネスコエコパークに認定された南アルプスを題材として、生態系の保全と持続可能な利活用、自然と人間社会の共生をいかに調和していくか、フィールドワークの中で学習します。	
富士山学概論 (静岡県立大学)	10月4、11、12、18日 (予備日:10月25日)	30	2	日本を代表する富士山は、日本人の自然観や文化に大きな影響を与えてきました。国際的にも重要な富士山について、世界遺産、産業、文化、自然、科学研究など多角的な学問分野から学びます。	
農林業 (静岡大学)	後期開講予定	100	1	静岡県の農作物、樹種について、静岡大学付属農場(藤枝フィールド)、付属演習林(天竜フィールド)で秋冬期の作業を体験し、その特徴について基本的な事柄を総合的に学びます。	
森林生態系からの恵み (静岡大学)	後期開講予定	30	1	富士山へ行き樹木限界と亜高山帯針葉樹林の各植生帯の成立要因や生態的トピックについて学びます。静岡県の森林に親しみ、外国人留学生とともに森林の生態系について理解を深めます。	10月1日~ 10月31日
伊豆の温泉と産業おこし (静岡県立大学)	11月8、9、15、16日	30	2	温泉を中心とした伊豆の地域資源について、地球科学、観光学、経営学などの視点から学習します。実習では伊豆の温泉の体験やジオサイトの見学等を通し、地域活性化のための産業おこしについて考えます。	
観光学 (静岡県立大学)	1月17、18日	20	1	東部地区や伊豆半島を舞台に観光業に携わる方々の話を聴いたり、観光地を見学したりします。野外学習と講義を通して、本県の多彩な観光資源や地域の魅力について理解を深めます。	

※8月18日及び8月27日は、産業イノベーション3科目一斉の講義となります。

・参加費用が必要な科目もあるため、詳細は募集要項をご確認ください。

・応募の際は、所属大学の募集スケジュールをご確認ください。